

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名	佐賀県立香楠中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、コロナ禍でできなかった諸活動をほぼ達成することができた。職場体験による職業観の育成、コロナ後の新たな香楠祭の開催、関西方面への修学旅行による幅広い知識の習得と敬愛・共働の精神の涵養、九州大学・熊本大学訪問による学業・進路意識への啓発など、自己実現に向けた取り組みができた。その中でも生徒希望による習熟度別学習会を全学年に行い、個々にあった学力の向上を図った。令和6年度もキャリア教育には力を入れ、生徒の「志」をより高める教育を継続していく。 ICT機器によるオンライン授業や教材の配信、各種アンケートの実施、学校からの連絡、各種行事への活用など様々な教育活動に反映させることができた。 生徒の人権についての教育や対応、「いじめ」についてもしっかりと取り組むことができた。また、新しい制服への移行による「生徒の人権」「LGBTQs」「いじめ」等の教育には引き続き真摯な姿勢で取り組んでいく。 「業務改善」と「働き方改革」について時間外在校等時間の平均は33時間であり昨年度と同時間であった。行事等コロナ禍前の学校生活へ復帰していく中で、ゆとりをもって業務に臨む実感が少ないとの意見もあり実感と成果が伴う業務の精選・改善に次年度以降も取り組んでいく。
2 学校教育目標	<p>校訓である「知を愛し、和を敬い、心を増え」を踏まえ、高い知性と豊かな人間性、たくましい心身を培い、高い使命感を持って社会の発展に貢献する人材を育成する。</p> <p>(1) 幅広い知識と深い教養を身に付けさせ、論理的思考力と豊かな表現力を育てる。</p> <p>(2) 敬愛・共働の精神を育み、高い倫理観と公正な判断力を育てる。</p> <p>(3) 強い意志と健やかな身体を鍛え、自己実現と社会発展に真摯に取り組む態度を育てる。</p>
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 中高6年間を見通して、それぞれの学年で生徒の「志」を高め、身に付けるべき力を定着させていく指導を確立する。 「キャリアデザイン」を通じて自分自身の強みや適性を見出させ、人権・職業観の基礎を形成し、進路意識を涵養する。 人権教育推進のため、管理職及び人権・同和教育担当者を中心とした校内推進体制の充実を図る。 教職員、家庭、外部専門機関との密な連携を推進し、いじめの早期発見・早期解決に努める。また、特別な支援が必要な生徒の把握に努め、必要な支援と合理的配慮を提供する。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善	○授業中での話し合い活動や意見発表を通して、理解が深まったとする生徒が75%以上	・全授業でペアやグループでの言語活動の時間をとる。根拠を明確にすることを心がけさせ、意見発表のスキル向上を図る。 ・年に2度アンケート調査を行う。	A	・授業中での話し合い活動や意見発表を通して、理解が深まったとする生徒が94%(1学期末調査)で、目標を大きく上回る結果であった。	A	・授業中での話し合い活動や意見発表を通して、理解が深まったとする生徒が97%(最終調査)で、中間評価からさらに改善し、目標を大きく上回る結果であった。	A	・ディベート力やプレゼン力をつけるための授業を参観したことがあります。生徒のアンケートで9割以上がそれにより理解が深まったという結果を高く評価します。	教務部 進路指導部 各学年
	○家庭学習の習慣化	○生徒自らが「起床時間、家庭学習開始時間、就寝時間」を固定し、学習時間の確保、規則正しい生活の維持に効果があったとする生徒が70%以上	・手帳を有効的に活用し、家庭での学習計画・学習状況を記録させる。アンケート調査と担任面談を2回以上行う。	B	・生徒自らが「起床時間、家庭学習開始時間、就寝時間」を固定し、学習時間の確保、規則正しい生活の維持に効果があったとする生徒が61%(1学期末調査)で、おおむね目標を達成していた。	A	・生徒自らが「起床時間、家庭学習開始時間、就寝時間」を固定し、学習時間の確保、規則正しい生活の維持に効果があったとする生徒が72%(最終調査)で、目標を達成した。	A	・「家庭学習の習慣化」の指導は、保護者であってもなかなか難しいと感じています。そんな中、生徒アンケートで肯定的意見が7割を超え、目標数値を達成できたことを高く評価します。	教務部 進路指導部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動することなど、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳アンケートにおいて肯定的な回答をした生徒が75%以上 ○人権・同和教育研修会に1回以上参加し、教育活動に実践できたとする教師90%以上	・保護者・地域に向けた道徳の公開授業を年に1回以上行う。(ふれあい道徳の実施) ・年に1度以上道徳アンケートを実施する。 ・人権・同和教育研修会に1回以上参加し、その成果を授業等で実践する。	B	・道徳アンケートにおいて肯定的な回答をした生徒が93%(1学期末調査)で、目標を大きく上回る結果であった。 ・人権・同和教育研修会に1回以上参加し、教育活動に実践できたとする教師については、おおむね達成できた。	A	・道徳アンケートにおいて肯定的な回答をした生徒が90%(最終調査)で、目標を上回る結果であった。 ・人権・同和教育研修会に1回以上参加し、教育活動に実践できたとする教師については、達成できた。	A	・道徳・人権・同和教育の充実、生徒の他人への思いやり、やさしさに繋がります。アンケートの結果、9割以上が肯定的であることについて、高く評価いたします。	教務部(道徳教育推進担当、人権・同和教育担当) 情報広報部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「いじめの早期発見、早期対応に向けた取組」の項目で肯定的な回答が教職員、保護者ともに80%以上	・各学期1回以上の生徒向けいじめアンケートを行う。 ・積極的に対策委員会を開き、組織的な対応で早期解決を図る。	B	・学校評価中間アンケートでは、生徒80.23%、保護者81.51%、教職員100%だった。1学期のいじめアンケート後に、職員ด้วยกันができていなかったことがあったため、今後は十分注意する。	B	・学校評価最終アンケートでは、生徒89.33%、教職員100%だった。保護者の評価は向上したが、生徒の評価が若干低下したので、生徒からも信頼されるいじめ対応を心がけたい。	B	・「いじめの早期発見、早期対応に向けた取組」について保護者アンケートの肯定的な回答は目標の8割を超えているが生徒アンケートの肯定的な回答の割合が低下している点が気になる。よりスピーディーな対応をお願いしたい。	生徒指導部 各学年 保健相談部
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれると思う」と回答した児童生徒60%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒70%以上	・今来手帳に、時間割・日々の出来事や記入、定期考査前には計画表に学習の状況を記入、提出をさせることで生徒理解につなげる。 ・内閣府の講師派遣事業等を活用して外部講師による講演を年に1回以上開催し、生徒に将来に向けての目標を持たせる。	A	・生徒の約90%、教職員の100%が肯定的な回答をし、生徒理解に繋がることができた。 ・生徒の約80%が肯定的な回答をし、学校での学習や行事を通して、将来の夢や目標について考えることができている。	A	・生徒の91.7%、教職員の100%が肯定的な回答をし、生徒理解につなげることができた。 ・生徒の84.09%が肯定的な回答をし、学校での学習や行事を通して、将来の夢や目標について考えることができている。	A	・「先生はあなたのよいところを認めてくれると思う」について生徒アンケートの肯定的な回答が9割、「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒も9割を超えていることは高く評価できる。今年度から導入した「今来手帳」をさらに有効に活用していただきたい。	各学年 進路指導部 生徒指導部 生徒会
	○環境美化	○「生活環境を整え、美しく保とうとする。」の項目で肯定的な回答が教職員、保護者ともに80%以上	・生徒の環境美化への意識を高めるために生徒会活動と連携して通常の清掃活動を充実させる。	A	・学校評価中間アンケートでは、生徒87.40%、教職員87.5%という結果だった。今後も継続指導する。	A	・学校評価最終アンケートでは、生徒89.09%、教職員87.5%という結果だった。今後も継続指導する。	A	・年間を通じて生徒の肯定的な回答が9割近いこと、保護者、教職員の肯定的な回答が共に8割を超えていることを高く評価いたします。	保健相談部 各学年
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」と回答する生徒が80%以上	・家庭科、保健体育、学活の授業で食習慣と健康への理解を深めさせる。 ・生徒会保健委員会による呼びかけを行い、食習慣に対する意識を高める。 ・年1回以上、生徒向けの食生活アンケートを行う。	A	・学校評価中間アンケートでは生徒93.31%、保護者74.15%という結果だった。 ・食事・健康に関するアンケートで「健康であるために食事は大切」と答えた生徒は95%だった。今後も継続指導する。	A	・学校評価最終アンケートでは生徒95.1%、保護者76.76%という結果だった。今後も継続指導する。	A	・中間、最終アンケート共に肯定的な回答をした生徒は9割以上、保護者も8割に近い。食習慣についての生徒、保護者の意識はかなり高いことがわかる。	保健相談部 各学年
	○「望ましい生活習慣の形成」	○睡眠・食事・学習時間を含めた生活習慣調査で望ましい回答をする生徒が70%以上	・学期に1回生活習慣調査を行い、望ましい生活習慣の形成を意図づける。 ・学活等授業で生活習慣の振り返りを行う。 ・調査結果を保護者に知らせ、改善へ向けての支援を依頼する。	A	・学校評価中間アンケートでは生徒71.76%、教職員93.33%という結果だった。今後も継続指導する。	B	・学校評価最終アンケートでは生徒72.93%、教職員62.5%という結果だった。今後も継続指導する。	B	・「望ましい生活習慣の形成」については、特に家庭での携帯電話(スマートフォン)の使用法(SNSへの対応)による睡眠不足が気になる点です。学校と家庭が協力してA評価を目指しましょう。	保健相談部 各学年
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・時間外の補習、部活動の縮減 ・ICTを活用した業務の効率化と代替、縮減 ・出退勤システムを活用した時間外勤務の管理	A	・「時間外在校等時間の上限を遵守している」と中間アンケートで回答した教職員は、87.5%であった。	A	・「時間外在校等時間の上限を遵守している」と最終アンケートで回答した教職員は、87.5%であった。	A	・9割近くの先生方が「時間外在校等時間」を遵守しているというアンケート結果については高く評価します。	管理職
	○労働環境の改善	○「時間外業務が縮減された」と回答した教職員70%以上	・業務の標準化による縮減 ・職員の負担減となる事務用品(機器)の設置 ・衛生委員会の協議事項の推進	B	・「職場の環境改善が行われた」と回答した教職員は中間アンケートの結果81.25%、「時間外業務が縮減された」は、43.75%であった。	B	・「職場の環境改善が行われた」と回答した教職員は最終アンケートの結果75.0%、「時間外業務が縮減された」も、75.0%であった。	B	・「時間外等在校時間」については遵守できているが、「職場環境の改善」については今後の課題かと思えます。休職、退職等の職員補填を速やかに実施されることを望みます。	管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	主な担当者
○読書指導	○読書活動の充実	○生徒一人あたりの年間平均貸し出し数、15冊以上に	・校内読書会の実施 ・朝読書の実施 ・おすずめの本のポップを作成し、紹介する。 ・読書感想文コンクールへの応募と文集刊行 ・学校図書たよりによる本の紹介	B	・学年が上がるにつれて貸出数は減少しているが、本年度は明らかに減ったと思う生徒が半数以下(46%)で健闘している。3学期を残した現段階で1年生14冊/人、2年生11冊/人、3年生10冊/人と年間15冊以上読むという目標を十分達成できるところまできている。	B	・おおむね、目標の年間貸出冊数は達成することができた。ただ、本を借りに来る生徒は、決まっており、来年度は、多くの生徒たちが図書館を利用するような工夫を考えていきたい。	B	・朝読書が定着し、本を読む習慣は向上していると思われず。電子ブックも普及し始めている昨今、予算の問題がありますが、図書館への導入も今後検討してみたいかがでしょうか。	教務部(図書担当) 各学年
◎キャリア教育	○中高6年間を見通し、分野別学習の充実・系統的なキャリア教育の推進。分野ごとの取り組みや、生徒が将来の進路や職業について考える機会の充実	○将来の夢や目標を、学校行事を通して、考えることができた肯定的な回答をした生徒80%以上	・生徒全員による分野別学習の取り組みの発表の実施 ・校外研修等では、分野別学習と位置づけ、大学等で研修を行い、将来の職業への関心を高める。 ・高校生や卒業生や高校の先生方による進路講話等を実施し、目標設定の手助けを行う。	A	・「将来の夢や目標を学校での学習や行事を通して考えることができている」について、肯定的な回答をした生徒が94%であった。校外実施の校外研修や各種講話等を通して、さらに学びをより深めさせていきたい。	A	・「将来の夢や目標を学校での学習や行事を通して考えることができている」について、肯定的な回答をした生徒が94%であった。校外実施の校外研修や各種講話等を通して、さらに学びをより深めさせていきたい。	A	・中高一貫教育校のメリットとして「キャリア教育」の充実、必要不可欠であると思えます。生徒、保護者ともにアンケート結果は、肯定的な回答が8割を超えており、高く評価をしております。アンケートの結果から生徒の意識もかなり高いようです。	進路指導部 各学年
○生徒会活動の充実	○一人一役の係活動の設定と、生徒会活動に積極的に取り組む生徒の育成	○「生徒会の活動に積極的に参加することができた」と感じる生徒70%以上	・各種委員会(月1回) ・生徒総会(年2回) ・生徒会会長選挙及び立会演説会 ・一人一役の委員や学級係設置 ・対面式、部活動紹介、開校記念遠足、鳥橋香楠祭、PTA役員との懇談会、人権集会、3年生を送る会など、学校行事の企画・運営や渉外対応。	A	・「生徒会の活動に積極的に参加することができた」と感じる生徒70%以上を達成した。 ・行事が立て込む時期は、学級討論の時間が確保しにくい。	A	・「生徒会の活動に積極的に参加することができた」と感じる生徒70%以上を達成した。 ・行事が立て込む時期は、学級討論の時間が確保しにくい。	A	・香楠中学校のレベルの高い生徒会活動、学級活動、委員会活動については、高く評価をしています。アンケートの結果から生徒の意識もかなり高いようです。	生徒会 情報広報部
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育										
5 総合評価・次年度への展望	<p>本年度は、全ての学校行事をコロナ禍以前の形式に戻して実施した。特に、職場体験・学校祭・キャリアプランニングセミナー・関西修学旅行など生徒にとって大変有意義な教育活動を行うことができた。来年度も継続していきたい。</p> <p>志を高める教育の「キャリア教育」は、全学年予定通りに実施できた。特に3年生においては大学の講義受講と工場見学を行い将来の夢や目標を考え、各々の進路意識の向上につながった。これも同じく来年度も継続していく。</p> <p>心の教育、「いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実」については、生徒からのいじめのサインをさらにスピーディーに認知、認知した来年度は年間を通じてのA評価を目指す。</p> <p>健康・体づくり、「望ましい生活習慣の形成」については、特に家庭での携帯電話(スマートフォン)の使用法(SNSへの対応)の指導を強化し、更なる望ましい生活習慣の確立を目指す。</p> <p>「労働環境の改善」については、職員の授業時間数等に配慮し、余裕のある労働環境を構築し、年間を通じてのA評価を目指す。</p>									